

新冠町稲作振興会が

小中学校に新米「判官伝説」を贈呈



新米を受け取る新冠小学校児童

12月12日、町稲作振興会が新冠産の新米「判官伝説（ゆめぴりか）」を新冠小学校に40キロ、新冠中学校に50キロ寄贈しました。同会の寄贈活動は10年以上続いています。新米を受け取った小学校6年の渡部峻さんは「感謝して、みんなで美味しく食べます。」とお礼し、中学校2年の氏家康介さんも「お米が大好きなので食べるのが楽しみです。」と感謝の言葉を述べました。

市民劇団ど・こゝれ新冠が

27回目の定期公演を開催



12月14日、市民劇団ど・こゝれ新冠が第27回定期公演をレ・コード館で開催し、350名が来場しました。今年の公演「なまらふえすていばる」は、2年前に公演された「北海道村1グランプリ」の続編で、ご当地アイドルを中心に物語が繰り広げられました。終演後、来場者からは出演者たちの熱演に惜しみない拍手が送られました。

北電ネットワーク株式会社が

高齢者住宅の照明清掃ボランティア



12月17日から北海道電力ネットワーク株の職員が、地域への奉仕活動として町内の高齢者住宅9件を訪問し、照明器具の清掃を行いました。これは、同社が毎年行っている活動で、訪問を受けた方は「年と共に高い所には上がることが怖くなっているの、何年も照明器具の清掃には手を付けていなかった。感謝の気持ちでいっぱいです。」と感謝していました。

新冠中2年の中川蓮さんが

フットサル全国大会出場を報告



1月11日から栃木県宇都宮市で行われる、第30回全日本U-15フットサル選手権大会に出場する新冠中2年の中川蓮さんが12月26日、鳴海町長を表彰訪問しました。中川さんは、新ひだか町のサッカーチームA'rea（アレアレ）FCに所属しており、全国大会に向けて「自分がチームに貢献できることを考えて大会に臨みたい」と意気込みを述べました。

町内の小中学生が

車いすバスケットを体験



12月21日、町教育委員会は「車いすバスケット体験教室」を開催し、町内の小中学生16名が参加しました。教室は座学と実技の二部構成で行われました。前半の座学では、北海道アダプティブスポーツの齊藤雄大代表から「パラスポーツとは何か」というテーマで講義が行われました。後半の実技では、車いすバスケットボールチームの枝廣一生選手とともに競技用車いすの操作やドリブルの練習などを行いました。その後、試合形式で車いすバスケットボールを体験し、参加者たちは競技の楽しさと難しさを実感していました。

その1

ま ち の

話

題

あ れ こ れ

氷川神社

『新年隆盛みこし』

1月1日、平成3年から続く新年伝統行事『新年隆盛みこし』が氷川神社で行われ、約200名が集まりました。境内では新年のカウントダウンが行われ、年明けと同時に氷川若衆会が神輿を担ぎ、境内を練り歩きました。その後、判官太鼓保存会の太鼓初打ちと餅まきが行われ、集まった人々は楽しみながら新年を祝っていました。



新冠小1年の福田剛己さんが優秀賞

ひだか馬の絵コンテスト



12月17日、新冠小学校で日高振興局主催「ひだか馬の絵コンテスト」の表彰式が行われました。新冠町では福田剛己さん（新冠小1年）が優秀賞を受賞し、高見芳彦日高振興局長から表彰状と記念品が手渡されました。なお、福田さんの作品を含む優秀賞・入賞作品は『2025年ひだか馬の絵カレンダー』に掲載されています。

歳末の事故や犯罪防止に向け

歳末防犯運動出陣式



12月17日、歳末防犯運動出陣式が役場ロビーで行われ、町の防犯運動関係者31名が参加しました。これは地域の安全と防犯活動の一環として、新冠町防犯協会・新冠町・静内警察署が協力して例年年末に実施しています。出陣式終了後、参加者たちは防犯のタスキや腕章を身につけ、歳末の防犯パトロールを行いました。

令和7年

消防出初式



1月6日、新冠消防団・消防署新冠支署連合出初式が行われ、関係者約90名が参加しました。今年には悪天候のため、予定されていた消防庁舎裏での観閲は中止となりましたが、市街地の分列行進は予定どおり行われました。市街地の分列行進には町内の消防団員が参加し、行進を見守る町民から大きな拍手が送られていました。

新冠町の交通安全を願う

氷川神社で交通安全祈願祭



1月8日、氷川神社で新冠町交通安全推進委員会（鳴海修司会長）主催の交通安全祈願祭が行われ、交通安全推進委員や交通安全協会員など関係者21名が参列しました。交通安全祈願終了後、主催者を代表して鳴海会長は「皆さんの出席に感謝します。これからも交通事故死ゼロを継続できるよう、ご支援、ご協力をお願いします。」と挨拶しました。